

【六月】お題「ガラス」「ため息」「花」

月間賞

梅雨来たる雨がガラスに反射して沈んだ心照らすプリズム

二二一 佐々木陽菜

第二席

ラムネびんガラスごしみれば海の中泡がはじけて息を止めて
 雨つづき窓ごしとまらぬため息はテストに就活：いや雨のせい
 初夏の日に芽を出し育つアサガオに日々の水やり六歳の仕事

二二二 松田真於

三一一 釜石柊那

三三三 木村紀来

第三席

透明な景色を映す窓ガラス色をつけては今日が変わった
 道端の色彩豊かな花達はまた来年ねとその身を隠す
 あじさいによく似た君の嘆く声ふりしきる雨に流されてゆく
 毎月の短歌書くたびでてくるよ思い浮かばず思わずため息
 暴言でたたくと割れる人の心薄くて弱いガラスのように

三一一 廣瀬亜美

二一一 佐々木陽菜

一一三 谷代乃々

二一一 木村菜々花

二一一 青柳優耶

優良賞

朝起きて思わずため息でてしまうやりきるためにため息すいこむ
 窓ガラス場所によって景色違うまるでキャンパス作者不明
 かんたんに割れはしないがどんどんと心のよにひびが入るの
 後悔の思いがまじるため息は誰にも聞かれず静寂へ消える
 あじさいのむらさき色が目に止まる雨のしずくが一滴落ちる
 時期は梅雨がポタポタ暗い空雨がりがりて紫陽花輝く
 花々や一度散るなりまた咲いて色とりどりの季節が始まる
 じめじめと気分が下がるこの季節これには皆ため息が出る
 ため息に気づいた彼の優しさに心やすらぎため息をつく
 授業中先生の声こもりうた眠気と戦いたため息一つ

二一一 荒木舞優

二一一 荒木舞優

三一一 佐々木涼花

一一三 菊地萌依

一一一 菊地麻央

三一一 伊藤綺畝

一一一 佐藤凜香

一一一 高嶋明衣里

一一三 高野美咲

一一三 早川奈桜

佳作

つかれはてちようデカため息流れ出るそしてその場にたまる口臭
 片方のガラスのヒール置き忘れピツタリはまる少女の足
 キラキラとつゆがきらめくアジサイが梅雨のゆうつ晴らしてくる
 水たまりのぞきこむとアジサイがふと見つけた新世界
 ガラスごし雨がぼつぼつこぼれおち甘さ漂うバラのにおいよ
 窓ガラス外の景色を写し出しそこに写ったキツネの親子
 空見上げぼつりと落ちる水滴がめがねに当たりキラリと光る
 息を吐く曇天色した花卉に向けて花が散るように息を吐く

一一二 笹川龍斗

三一一 伊藤綺畝

二一一 三浦明音

一一二 早坂彩葉

一一一 泉新汰

三一一 高橋正樹

二一一 猪股響生

二一一 熊谷快夢

今回は、二年生の活躍が目立ちました。「ガラス」や「ため息」というお題は、やや抽象的でイメージを膨らませるのが難しいかなと思っただけですが、自分の体験や心境とうまく結びつけて豊かに表現している作品が多くありました。月間賞の佐々木さんの歌は、心象風景（心に浮かぶ記憶や印象等）を「雨」、「ガラス」、「反射」、「プリズム」などの言葉を駆使して、立体的に描きだした、秀逸（しゅういつ）な作品となりました。（石）